

VPC-SH3STD-TC

SDI to HDMIコンバータ

《タイムコード表示機能付き》

取扱説明書



VideoPro

July 12, 2022

ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点等がございましたら、MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MEDIAEDGE株式会社カスタマーサポート TEL: 078-265-1552 FAX: 078-265-1550
月曜～金曜: 10:00～12:00, 13:00～17:00 ※土日祝日 および 当社指定休日をのぞく

ご注意

- 本書の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- 本書の内容や仕様は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら、当社までご連絡ください。
- 運用した結果については、3項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- MEDIAEDGEはMEDIAEDGE株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

- 健康上のご注意
ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、体に異常を感じる方がいます。本製品の運用にあたっては、十分留意してください。



警告



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。電源コードを抜くときは、プラグ部分を持ってください。電源コードが痛んだら、使用を中止し、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



お手入れについて

- お手入れの際には、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。コンセントに接続したままだと、感電や故障の原因となります。
- お手入れの際、シンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電源ケーブルをコンセントから外してください。

個人情報の取り扱いについて

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の製品のサポートの実施
- 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施
※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。
- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
- 懸賞企画等で当選された方への賞品の発送

保証規定

- 本機の保証期間は3年間です。
- 保証をお受けいただくには、ユーザー登録を行っていただく必要があります。
- ユーザー登録を行っていただくと、保証書がダウンロードできます。
- 保証期間の開始日は、当社出荷日を起点に翌々月1日より3年間となります。
- 取扱説明書に記載の注意事項や使用方法による故障に関しては保証できません。
- 本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。本機を日本国以外で使用した際の故障に関しては保証できません。

ユーザー登録方法



パソコンやスマートフォンなどから登録サイトにアクセスしていただき、製品のシリアルナンバーを入力してください。
<http://www.mediaedge.co.jp/enq/u-reg.html>

シリアルナンバーは、製品またはパッケージに貼付されています。VPから始まる10桁のシリアルナンバーを入力してください。

サンプル:



左記サンプルの場合
「VP12ZZ9999」が
入力いただくシリアルナンバーになります。

内容物

VPC-SH3には以下のものが含まれています。

- 取扱説明書 × 1
- 専用ACアダプタ (日本国内仕様) × 1
- VPC-SH3STD-TC本体 × 1
- ケーブルクランプ x 2 (HDMI, USBケーブル用)

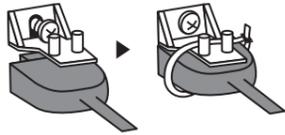
注) ケーブル類は付属しませんので別途ご購入願います。



専用ACアダプタ (日本国内仕様)

ケーブルクランプ使用方法

ネジをゆるめて、クランプをはさみ、ネジを締めて固定します。クランプ本体とHDMI / USBケーブルをバンドで固定します。



接続

特に手順はありませんが、付属のACアダプタを最後に接続すること

をお勧めいたします。



パネル

■フロントパネル

①	マイクUSBコネクタ	ファームウェアのアップデートや設定に使用します
②	DIPスイッチ	各種設定に使用します レバーの上位置をU、下位置をDとします
③	ロックボタン	選択ボタンの動作を禁止(ロック)します
④	選択ボタン	音声入力チャンネルなどの選択に使用します
⑤	LED	機器の状態などを表示します



■リアパネル

①	電源コネクタ	付属のACアダプタを接続します
②	SDI入力端子	3G/HD SDI信号を入力します
③	SDIループ出力端子	SDI 入力端子に出力された信号を出力します
④	LTCタイムコード入力端子	LTCタイムコード信号を入力します
⑤	LTCタイムコードループ出力端子	LTCタイムコード入力端子に出力された信号を出力します
⑥	HDMI出力端子	HDMI信号を出力します



特徴

■安価で軽量なHDMIディスプレイでタイムコード表示

SDIにエンベデッドされたVITC、LTCだけでなく、外部LTC IN端子から入力されたタイムコードをHDMIディスプレイに表示します。

■タイムコード

・タイムコードの位置や表示方法(透過マット、ふちどり)を設定可能。

・プログレッシブモードで直感的に使える60フレーム表示機能。

・ドロップ、ノンドロップフレーム、フィールド表示対応。

・フレーム部分の非表示に対応。

■セーフティーエリア枠

複数のサイズから選択できます。

■SDIの音声をHDMIでモニター

SDIオーディオ 8 CH中の2 CHを選択してHDMIディスプレイに出力します。単なる選択だけでなく、ミキシングも可能です。

■音声レベルメーター

音声を視覚的に確認する音声レベルメーターを装備、表示位置やチャンネル数、メーター形状などを選択できます。

■LOOP出力

システム構築に便利なLOOP出力をSDI、LTCそれぞれに装備しました。

■USBからの電源供給

付属のACアダプタだけではなく、モバイルバッテリー等から電源を供給できます。

■ネジロック式電源コネクタ

電源ケーブルの抜け落ちを防止します。

設定

■各種設定

●ボタンの基本操作

ロックボタン 2秒以上長押しして
LEDが消灯: 選択ボタンによる設定が可能です。
LEDが点灯: 選択ボタンによる設定は出来ません。
設定は電源を落とした場合も保存されます。

■音声設定

●音声チャンネルの設定

DIPスイッチ 11=U, 12=U
DIPスイッチ11,12を上記の設定にして、選択ボタンの操作により、SDI入力信号中の8チャンネルの音声信号から2CHを選択し、HDMIに出力できます。
選択したチャンネルは下記の○印の部分に表示されます。



	HDMI L (左)CH	HDMI R (右)CH
A12	SDI 1CH	SDI 2CH
A34	SDI 3CH	SDI 4CH
A56	SDI 5CH	SDI 6CH
A78	SDI 7CH	SDI 8CH
AM1	SDI 1CH + 3CH	SDI 2CH + 4CH
AM2	SDI 5CH + 7CH	SDI 6CH + 8CH
AM3	SDI 1CH + 3CH + 5CH + 7CH	SDI 2CH + 4CH + 6CH + 8CH

AM1～AM3のモードでは音声は混合して出力されます

●音声メーターの設定

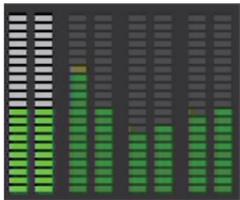
DIPスイッチ 11=D, 12=D
DIPスイッチ11,12を上記の設定にして、選択ボタンの操作により、音声メーターの形状と表示位置の設定が出来ます。また選択(出力)されているオーディオチャンネルのメーターの上側の領域がグレーで示されます。

●音声メーター表示の設定

DIPスイッチ8, 9の設定により、音声メーターの表示チャンネルを設定できます。この設定は表示のみに有効で、AMモードの入力チャンネルは影響を受けません。

DIP スイッチ		
8 U	9 U	8CH 表示
8 D	9 U	4CH 表示
8 U	9 D	2CH 表示
8 D	9 D	音声メーター非表示

下記はAM 1 モード (L=1+3,R=2+4) 8CH表示の状態です



音声メーターとSDI入力チャンネルとの関係は下記ようになります



左上よりCH1,CH3,CH5,CH7

右上よりCH2,CH4,CH6,CH8



左より CH1,CH2,...,CH8

■表示設定

●タイムコード表示/非表示の設定

DIPスイッチ 1 がUの時に表示、Dの時に非表示になります。

●タイムコード文字の設定

DIPスイッチ7がUの時にマット表示、Dの時にふちどり表示になります。

マット表示

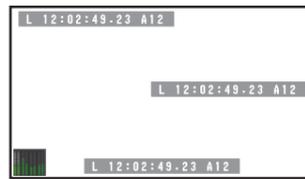


ふちどり表示



●タイムコード表示位置の設定

DIPスイッチ 11=D, 12=U
DIPスイッチ11,12を上記の設定にして、選択スイッチの操作により、タイムコードの表示位置を設定することができます。(複数のプリセット位置から選択可能です)



●セーフティー枠表示の設定

DIPスイッチ 11=U, 12=D
DIPスイッチ11,12を上記の設定にして、選択ボタンの操作により、セーフティー枠表示位置の設定をすることができます。(消すこともできます)(複数のプリセット領域から選択可能です)



■LED表示

LOCK : 選択ボタンの操作がロック(禁止)されている場合に点灯

(Lockボタンの2秒長押しで切り替え)

LTC : LTC入力端子の信号を検出した場合に点灯

SDI : SDI入力端子の信号を検出した場合に点灯

POWER : 電源投入時に点灯

■電源運用

付属ACアダプタが使用可能です

モバイルバッテリー 1 A以上の供給能力のあるものが使用可能です。

(充電機能はありません)

USB充電器 1 A以上の供給能力のあるものが使用可能です。

USB電源と付属アダプタを同時に使用した場合付属アダプタが優先されます

注1) PCのUSB端子の電源仕様はバージョンや機器によって様々ですのでこれを使用した運用はお勧めしかねます。ファームウェアのアップデートなどを行う場合は、必ず同梱のACアダプタをご使用願います。

注2) USB充電器やモバイルバッテリー、ケーブルには粗悪な作りの製品もございます。すべての機器での動作を保証するものではありません。

■信号仕様

名称		
SDI IN	BNC	SDI-Video 3G : 1920x1080 p59.94/p60/p50 HD: 1920x1080 i59.94/i50 1280x720 p59.94/p60 SDI-Audio : 8ch (Group1,2)
SDI LOOP	BNC	SDI LOOP 出力 (バッファ有)
LTC IN	BNC	LTC 入力 SMPTE 12M
LTC LOOP	BNC	LTC LOOP 出力 (バッファ有)
HDMI OUT	HDMI Type-A	Video : SD 入力に同じ Audio : 2ch 48KHz
PC-USB	Micro USB	ファームウェアアップデート 電源供給用

■寸法

123mm x 64mm x 22mm (取付金具、コネクタを除く)

■タイムコード入力設定

本機では下記の3種類のタイムコードを選択できます。

- 1) LTC入力端子からのLTC
- 2) SDI入力にエンベデッドされたVITC
- 3) SDI入力にエンベデッドされたLTC

●タイムコード入力自動選択設定

・DIPスイッチ 2=Uの時
タイムコードを自動で選択します。優先順位は下記の通りです。

- 1) LTC入力端子からのLTC
- 2) SDI入力にエンベデッドされたVITC
- 3) SDI入力にエンベデッドされたLTC

・DIPスイッチ2=Dの時
タイムコードをDIPスイッチ3, 4の設定に従って選択します。
DIPスイッチ 3=U LTC入力端子のLTC
DIPスイッチ 3=D SDI入力端子のタイムコード(DIPスイッチ4で選択)
DIPスイッチ 4=U SDI入力端子のVITC
DIPスイッチ 4=U SDI入力端子のLTC

※選択されたタイムコードによって下記の○の部分の表示が変わります。



- L) LTC入力端子からのLTC
- V) SDI入力にエンベデッドされたVITC
- SL) SDI入力にエンベデッドされたLTC

●タイムコードのフレーム部分(小数点以下の部分)の表示設定

DIPスイッチ5=U フレーム表示
DIPスイッチ5=D フレーム非表示

●プログレッシブモードにおけるタイムコード表示の設定

タイムコードは30フレーム単位で更新され、60P等のプログレッシブモードにおいても、タイムコードのフレーム部分は00,00,01,01,02,02...28,29,29といった形で記録されており、0~29の表示となるのが一般的です。

本機ではこのような場合でも、フレーム部分のタイムコードを 00,01,02...57,58,59と置き換えて0~59の表示とすることで、より直感的にご使用いただく機能があります。

DIPスイッチ6=U タイムコードの加工表示は行いません。
DIPスイッチ6=D タイムコードを60カウントに加工して表示します。



■ドロップフレーム/フィールド表示

ドロップフレーム/フィールド(小数点部分)の表示はタイムコードによって下記の通りになります。

ドロップフレーム	トップフィールド	ボトムフィールド
VITC	, (コンマ)	;(セミコロン)
LTC	, (コンマ)	, (コンマ)

ノンドロップフレーム	トップフィールド	ボトムフィールド
VITC	. (ドット)	:(コロン)
LTC	. (ドット)	. (ドット)

